

協約・協定改訂 職場要求を勝ち取ろうシリーズ ③

安全・旅客サービス向上のため 駅の要員増を勝ち取ろう！

営業職場で働く全社員の皆さん、夏季輸送の中、大変お疲れ様です。

JR東海労は、営業職場の労働条件改善のための闘いを、この基本協約・協定改訂の闘いの中で展開しています。具体的には、「セキュリティー確保の面から、駅の泊勤務は全ての駅で2名以上の体制とすること。また、日中の業務輻輳に対応するため、休憩時間においても2名以上の体制とすること」などを要求して交渉に臨みます。

地方などでは、泊勤務が1名という駅が多くあります。1名の泊まりで、異常事態が発生した場合、どのように対処すれば良いのでしょうか？身の危険が迫った場合、誰も助ける人はいません。経費と安全、どちらが大切でしょうか。会社はセキュリティーの必要性を口うるさく言っています。ならば、最低2名の要員を配置する必要性があるのです。

また、多くの乗客が利用するにも関わらず、2名体制で改札業務を行っている駅があります。自動改札機や自動券売機のトラブルは頻繁に発生しています。対処に追われると、精算業務が1人きりになり、乗客からの問い合わせなどに対処できません。しかも、その2名のうち1人が休憩になると、その時間帯は1人で全て対処しなければなりません。このことが、サービスを低下させ、JR東海の信用を失う原因となります。

安全とサービスは鉄道業の根幹をなしているのです。JR東海労は、要員増の獲得を目指し闘います。